

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コロニー児童デイサービスくわえ		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 27日		～ R7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	R7年 2月 12日		～ R7年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土、祝や長期休み(春、夏、冬休み)を使って、様々な体験が出来る様な室内行事やお出かけを行っている。	・公園や公共施設等のお出かけは、いくつか決まった場所を複数確保しながら、常に新しい情報を探している。 ・工場見学や体験が出来る施設を活用し、より多くの刺激や経験が出来るように心掛けている。	・様々な観点から、体験の場や知ることが出来る事の情報を集め、難しい事への挑戦に繋がれば良いと考えています。
2	公園遊びやイベントを通じて、地域との交流を図っている。	・公園遊びに出掛けた際に、地域の児童と交えて一緒に鬼ごっこなどをして交流をしている。 ・ハロウィン行事や地域のお祭りの参加により、地域の方々との交流を図り、当事業所の認識にも繋げている。	・地域と交流できるイベント事をより多く提案し、機会の場を増やして行く事。
3	個に合わせた活動プログラムや集団による活動プログラムを計画し、社会的ルールの学びや自立に向けた支援内容に力を入れている。(保護者や児童本人による意見を聞きながら、時には意思決定に繋げている。)	・普段の活動の中で、児童本人がどのような活動をしてみたいかを聴取し、活動プログラムの計画の参考にしている。 ・自立に向けた個に合わせた支援内容を重点的に考えながら、より多くの環境によるルールを学べる様プログラム作りを心掛けている。	・伸ばす事ももちろんだが、苦手な事へのチャレンジをする機会を増やして行く。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室が少ないため、個別での支援内容が必要な時には難しい場面が出てくる時がある。	・個室が少ないが故に、パニックを起こしてしまった児童のクールダウンをする場をすぐに提供する事が難しい。	・柵やマットなどを用いて、区分けをして安心する場所の提供をし、改善に繋げている。 ・事業所内が難しい場合は外へ出て、散歩等をしてクールダウンに繋げる。
2	家族等の参加できるペアレント・トレーニング等の研修の機会が少ない。	・ペアレント・トレーニング等の研修の情報等があれば、手紙による周知を行っているが、回数が少ない。 ・北谷町在住の保護者対象の研修が多い。	・他市町村の研修内容の情報収集に努め、発信できる場を増やして行く取組が必要。
3	様々なマニュアル(事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対策等)や訓練(火災、地震・津波)の周知不足があった。	・連絡帳アプリやお手紙、家族会等で発信をし、参加できなかった保護者に対して後日説明をしていたが、周知するまでには至っていないかった。	・定期的に保護者が確認できる方法を考え、訓練の実施の周知も連絡帳アプリをより活用しながら改善していく必要がある。